科目名			担当教員	
カウンセリング演習Ⅱ			菊住　彰	
科目コード	単位数	スクーリング単位	履修方法	配当年次
FG3696	1	1	S（講義）	2年以上
生成AI利用レベル		試験（スクーリング含む）　：　C		

※2017年4月より社会福祉学科学生も卒業要件単位に算入できる科目になりました。
※上記にともない、科目コードを「FG3696」に変更しました。ただし、福祉心理学科で2016年度までの単位修得者は昨年度までの科目コード「FG3686」のままです。

科目の概要

■科目の内容

カウンセリングの実践や応用について、体験的に理解していくことを目的とした授業です。1対1での傾聴の姿勢を身につけるだけでなく、逐語記録を使った対話分析などを行い、より適切な応答を細かく検討していきます。伝統的な個人面接に加え、臨床現場で行われているサポートネットワーキング、コンサルテーション、危機介入、システムズアプローチなどの援助方法も学習します。ただし、こうした理論の習得だけではなく、グループワークによって非言語のコミュニケーションスキルを磨くトレーニングをしたり、ロールプレイを批評しあったりといった、かなり実践力に比重を置いた授業になると考えてご参加ください。

■到達目標

1）カウンセリングの基本的な技法を使って、クライエントの感情を表す言葉を引き出せる。
2）非言語のコミュニケーションスキルを駆使して、クライエントとの信頼関係を築ける。
3）自分の感情や価値観に縛られずに、クライエントの言葉を受けとめながら聴ける。
4）クライエント個人だけではなく、その人の暮らす環境にも視野を広げ、サポートの資源を探し出せる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人間理解力」「主体的協働力」を身につけてほしい。

■教科書・参考図書

【教科書】

福島脩美著『カウンセリング演習』金子書房、1997年

■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	カウンセリングの姿勢①	クライエントに向き合う心構えの再考
2	カウンセリングの姿勢②	クライエントに向き合う態度の再考
3	カウンセリング技術の応用	さらに心を開いてもらうために
4	事例場面から学ぶ	映像教材と逐語録から検討

5	ロールプレイ①	基本的なやりとりを駆使する演習
6	ロールプレイ②	実際的な場面設定での演習
7	カウンセリングの視点	何を目標に取り組むか
8	まとめと質疑応答	
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

座学だけではなく、実際の面接の場面を映像で見ながら検討したり、参加者どうしでロールプレイを行ったりして、実践的な内容となります。

■スクーリング　評価基準

スクーリング試験 100%（論述式。持込すべて可）

試験では到達目標に関する自己の考察を具体的に記述することを求めます。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

教科書は読んできてください。授業ではそれを前提に、実際のクライエントとかかわる場面を想定した練習に比重をおきます。

本講義は原則的に「カウンセリングⅠ」または「カウンセリングⅡ」のスクーリングを受講されるなど、カウンセリングの基礎知識をお持ちの方を対象としています。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25 時間）

授業で学んだことを、実際の生活に少しずつでも取り入れる努力を続けてください。繰り返し行って、意識せずに実行できるくらいになれば、本来の免許皆伝です。